



桑名市議会議員

Vol.15

# 倉本たかひろ

後援会レポート



<http://www.t-kuramoto.net>

発行者 倉本たかひろ後援会  
〒511-0903 桑名市大山田4-18-16  
TEL 090-6080-5869

ご意見・ご要望は上記の連絡先までお寄せ下さい。

大山田北小学校 卒業  
陵成中学校 入学  
光陵中学校 卒業  
(学校の分離により2年次より光陵中学校に通学)  
学法津田学園高等学校 卒業  
東京経済大学経済学部 卒業  
現在、桑名市議会議員

桑名市議会議員  
津田学園評議員  
社団法人日本福祉医療推進委員会 理事  
大山田地区社会福祉協議会 相談役  
株式会社BAC代表取締役  
NPO法人なのはな音楽療法研究会 理事  
東海若手市議会議員の会 事務局次長  
三重県若手議員の会 会員 ほか

## 市議会議員選挙後、初の議会となる12月定例議会終了

平成22年度一般会計補正予算ほか12議案 賛成多数で可決

主な補正予算の内容

- ・桑名市民病院と山本総合病院との統合に向けた調査費
- ・子宮頸がん・ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン経費
- ・市道改良工事費(法務局前の市道も含む) など

### 倉本たかひろは平成22年一般会計補正予算ほか市長提出の12議案すべてに今議会では賛成

今議会の議案の中で議論を要する議案は桑名市民病院と山本総合病院との統合に向けた調査費。

両病院の調査費については過去にも予算計上されており、今回で2度目の調査となります。

「過去に一度調査をしたものを再度調査するとはどういったことか」という質問が本会議等でも出ており、当局側からの説明は過去1度おこなっている調査の先の調査であるとの趣旨の答弁で、具体的には山本総合病院の営業権をいくらで桑名市民病院側が買い取るのが適正かなどといった調査内容のようです。

なぜ、最初の調査でそれぐらいのことは調査しておかなかったのかという疑問は当然残ります。

おそらく、当初は山本総合病院との統合に向けた調査はポーズであり、本気で取り組む期はなかったのではないかと推測できます。

しかし、従来から私は主張をしているように桑名市には地域の基幹病院となりうる病院が一つ必ず必要だという主張は変わっておりません。

官民いずれの経営であってもいつ病氣、怪我をしても安心をしかかされる病院を早急に確立しなければ特に産婦人科、小児科の救急医療は崩壊の一手手前です。

まずは、統合に向けて重い腰をようやくあげたということの評価し、市民生活を守るために一般会計補正予算ほか12議案に賛成をしました。

### 倉本たかひろは「TPP交渉参加に関する意見書 (TPP交渉参加反対の意見書)」に反対

TPPとは関税を撤廃して自由貿易圏をつくらうとする構想のことです。すでに韓国などが各国とFTA(自由貿易協定)を着々と結んでいっており、輸出大国である日本にとって大きな脅威ではあるが、FTAに関しては韓国などに日本は国家戦略として大きく出遅れたという状況にあります。このまま放置をしておく輸出産業にとって大きな打撃を受けることは避けられない状況です。そこでこのTPPに参加することによりFTA戦略での遅れを一気に取り戻すことのできるまさに好機なのです。

一面では輸出産業を守るか、農業を守るかという二者択一的に選択を迫られているように見えますが私はそうではないと思っています。

なぜなら、日本の農業の今の姿が本当に継続可能な産業といえるのでしょうか。関税を始め、多くの規制によって守ってきた結果、食料自給率は伸びたでしょうか。伸びるところか衰退の一途をたどっています。

今回のTPPへの不参加を求めることはこの現在機能していない農業政策の継続を求めらるものであり、日本の農業にとっても衰退産業として国の保護下に置き続けることを意味しています。

大量生産型の農業は国土の狭い日本ではなじまないことは事実ですが、質の高い安全な農産物を国際市場に投入をする大きなチャンスでもあるのです。

もちろん、そのためには現在の衰退モデルから脱却する構造転換をしていく必要性があり、一定の時間と投資が必要になります。

現在の菅政権は失態続きでほとんど目に見える成果をあげず、国の将来ビジョンも示すことができていない中、唯一と言っていい大きな方向、ビジョンを示したものであると私は高く評価をしています。

確かに、農業団体(しかも一部の)からは市議会としてもTPP参加に反対してほしい旨の要望がよせられています。

しかし、この要望によって意見書を出すことは日本の農業の将来をつぶすと同時に桑名市内にも多くある輸出関連企業の経営を圧迫することにつながっていきます。

ですので12月議会では私はTPP参加反対の意見書には反対討論をした上で反対をしました。

# 倉本たかひろの12月議会一般質問

## 徹底した不祥事対策を求める倉本たかひろ

Q1.先の市議会議員選挙で多くの候補者が徹底した不祥事対策を訴え選挙を勝ち抜いてきたことから見ても徹底調査をすべきであるとする見解は？

A1.これ以上の調査は必要ないと考えている

**批評** 民意をまったく無視をしたあるまじき態度。身内に甘い体質はなにも変わっていない。

## トップマネジメントの強化を強く主張する倉本たかひろ

Q1.市長直属の機関として桑名戦略局を設置し、トップマネジメントを強化してはどうか？

A1.現状においては難しい

Q2.意思決定がどこでおこなわれているのが不明確であると思うが見解は？

A2.市長がすべての事務処理を統括しているので問題ない

Q3.健康増進施設(多度温泉)の責任者は保健福祉部長との答弁があるがどうか？

A3.担当部局が保健福祉部長との趣旨で答弁をした

**批評** 現行制度では桑名市の大方針が見えづらい環境にある。このままでは桑名市の方針が見えてこない。

## 国が変えないのなら地方から国の仕組みを変える提案を続ける倉本たかひろ

Q1.民主党政権の高速道路無料化が遅々として進まない今、名古屋通勤者が多く、伊勢大橋などの渋滞緩和が図れない現状を考え、桑名市として名古屋～桑名間の高速料金値下げに動いてみてはどうか？

A1.現時点においては難しいと考えている

Q2.渋滞緩和、人口流入の対策はもっているのか？

A2.伊勢大橋の架け替えを国に求めていくことと人口流入策は総合計画を着実に実施をしていくことで街の魅力をもちたせいくことだと考えている。

**批評** 相変わらず国への依存体質が抜けきっていない。国があてにならないなら地方でもできることから取り組んでいくべき。



## 山本総合病院と桑名市民病院の経営統合により地域の基幹病院をつくることを強く主張する倉本たかひろ

Q1.市民病院を建て替えるなどのハード面の整備で医療が守れるなどという認識は持っていないですよね？

A1.医師確保が重要な課題であるとの認識のもと三重大へも医師派遣の要請をおこなっている。

Q2.山本総合病院と桑名市民病院との統合が医師確保にとって有効な手段であるとの認識はあるのか？

A2.現時点において両病院の統合が有効な手段であると考えている

Q3.この問題について（市の方針を示す）政治的メッセージを出すことが重要であると思うが見解は？

A3.今回の予算に調査費を計上していることがメッセージであり、強い決意で臨んでいきたい

**批評** 両病院の統合に向けてかなり前向きな答弁を引き出した。両病院の統合を第一の選択肢として地域医療再編に向けて取り組んでもらえるものと期待をしている。

## 倉本たかひろ企画の 桑名竹炭米 栽培2年目に

桑名に多数ある放置された竹林から出てくる竹を炭にした竹炭を土壌改良材として有効活用し、栽培期間中農薬、化学肥料などを一切使わず栽培している桑名竹炭米。

2回目となる収穫を今年の秋に迎えました。

1kg800円から販売をしておりますのでご希望の方はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 倉本たかひろ事務所 090-6080-5869